

保証書

電気ケトル保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。この製品は持込修理対象製品ですので、郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様負担となります。

型名	CK-DB08/CK-DB10		修理メモ
※お客様 お名前	電話番号		
ご住所 〒			
※お買い上げ日 年 月 日	※販売店名・住所・電話番号		
保証期間 お買い上げ日より 本体1年			

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
(ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・虫害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。
(ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
(ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
(ヘ) 本書のご提示がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
(チ) 消耗品などの交換。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 電話 (06)6356-2451

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様
ご相談センター
フリーダイヤル
0120-345135

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
●一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ……………TEL (06)6356-2451(有料)
●FAXでのお問い合わせ……………FAX (06)6356-6143(有料)
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

ホームページのご案内

象印マホービン お客様サポート
<https://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>



愛情点検

長年ご使用の電気ケトルの点検を!



こんな症状は
ありませんか

- ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

こんな症状のときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

CK-DB 型 ©B(A)



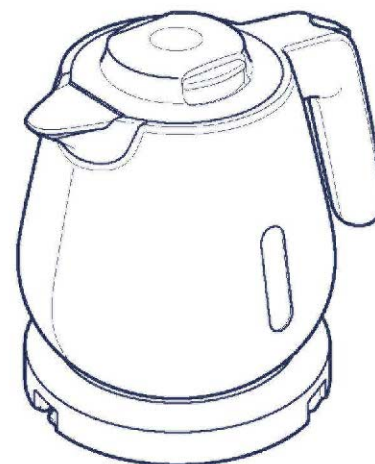
家庭用

電気ケトル

型名 CK-DB08 型
CK-DB10 型

取扱説明書

保証書つき



- このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ごさいます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

「ZOJIRUSHIオーナーサービス」で 製品登録をお願いいたします。

ZOJIRUSHIオーナーサービスではご登録いただいたお客様に消耗部品の特別価格販売など様々な特典をご用意しています。

【ZOJIRUSHIオーナーサービスWEBサイト】

<https://www.zojirushi-support.jp/>



- 「ZOJIRUSHIオーナーサービス」の登録についてはパソコン・スマートフォン・タブレットといった機器が必要です。
- 本サービスは、日本国内に居住する個人のお客様に限り、日本国内でのみ利用可能です。

もくじ

お使いになる前に

- 安全上のご注意 …………… 2
- 各部のなまえと扱い方 …………… 4

使い方

- 湯を沸かす …………… 7
- 湯を注ぐ …………… 9
- 残り湯を捨てる …………… 10
- 空だき防止 …………… 10

お手入れ

- お手入れ …………… 11
- クエン酸洗浄(ピカポット) …………… 12
- 内ぶたパッキンの交換 …………… 12
- 部品の交換・購入について …………… 13

困ったときに

- 商品Q&A …………… 13
- 故障かなと思ったとき …………… 13
- 仕様 …………… 15
- アフターサービス …………… 15
- 保証書 …………… 裏表紙
- お客様ご相談窓口 …………… 裏表紙

●この商品は湯沸かし専用です。
保温機能はついていません。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。

注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

❌ してはいけない「禁止」内容です。

⚠️ 実行しなければならない「指示」内容です。

警告

❌ **改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない**
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

❌ **水に浸けたり、水をかけたりしない**
流し台など水にぬれた場所に置かない
ショート・感電の原因になります。
本体接続部や電源プレートは液体に浸けたり、液体をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

❌ **ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない**
感電・けがの恐れがあります。

❌ **注ぎ口に触ったり、手や顔を近づけない**
やけどの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。

❌ **注ぎ口をふきんなどでふさがない**
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。ふたの変形・変色や故障の原因になります。

❌ **ふたを勢いよく押し込まない**
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

❌ **滴水表示以上の水を入れない**
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。



❌ **製品を抱きかかえたり、傾けたり、揺すったり、ふたを持って移動や排湯をしない**
湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

❌ **製品を転倒させない**
湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

❌ **交流100V以外では使用しない**
火災・感電の原因になります。

❌ **子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない**
やけど・けが・感電の恐れがあります。

❌ **子供に製品で遊ばせない**
やけど・けが・感電・火災の原因になります。
❌ **コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。



❌ **コードを傷つけない**
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

❌ **氷を入れて保冷用に使わない**
結露が生じ、感電・故障の原因になります。

❌ **直火(ガス台など)や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない**
火災・故障の原因になります。

❌ **水以外のものを入れたり、沸かししたりしない**
泡立ちが起こり、内容物がふきだして、やけどの恐れがあります。また水路が詰まったり内容物の焦げつきや腐食の原因になります。

●牛乳・酒・スープ・備長炭・ティーバッグ・お茶の葉
●インスタント食品の調理
●レトルト食品のあたためや食材をポリ袋などに入れて加熱する調理

❌ **本体接続部・電源プレート接続部(金属部)にピンなど金属片やごみを付着させない**
感電・ショート・発火の原因になります。

❌ **本体接続部・電源プレート接続部(金属部)をなめさせない**
感電・けがの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。

⚠️ **内ぶたパッキンが白く変色したら交換する**
傾けたり誤って倒したときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。また、蒸気漏れにより、やけど・故障の原因になります。

⚠️ **定格15A以上のコンセントを単独で使う**
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

警告

⚠️ **差込みプラグは根元まで確実に差し込む**
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。
差込みプラグの刃(プラグの先端)および刃の根元にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。

⚠️ **次のような方が使用する場合は、必ずこの製品の安全な使い方を理解した保護者、または介護者の補助のもとで使用する**
●子供
●この製品の使用において、補助が必要な方やけど・けが・感電・火災の原因になります。
※この製品は、上記のような方がひとりで使用することを意図しておりません。

⚠️ **ふたは確実に取りつける**
倒れたときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

⚠️ **異常・故障時には直ちに使用を中止する**
そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがの原因になります。
<異常・故障例>
●差込みプラグ・コードが異常に熱くなる
●コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
●製品が変形したり、異常に熱くなる
●製品から煙が出たり、焦げくさいにおいがする
●製品の一部が割れたり、緩みやがたつきがある
●注ぎ口から蒸気が5分以上出続ける
●製品から水が漏れる
このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

注意

❌ **ふたをはずすときは、出る蒸気に触れない**
やけどの恐れがあります。
❌ **使用中や使用後しばらくは高温部(注ぎ口・注ぎ口カバーなど)に触れない**
やけどの恐れがあります。

❌ **製品を持ち運ぶときは、ふた開閉つまみに触れない**
ふたがはずれて、やけど・けがの恐れがあります。

❌ **壁や家具の近くで使わない**
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

❌ **不安定な場所では使用しない**
やけど・けがの恐れがあります。

❌ **熱に弱い敷物の上では使用しない**
火災の原因になります。

❌ **湯沸かし中は、湯を注がない**
湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。

❌ **熱源のそばで使用しない**
火災・故障の原因になります。

❌ **専用の電源プレート以外は使用しない**
電源プレートは他の機器に転用しない
また海外仕様の電気製品に使用しない
故障・発火の原因になります。

❌ **使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く**
やけど・けが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

⚠️ **お手入れは冷めてから行う**
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。
⚠️ **差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く**
感電・ショート・発火の原因になります。

⚠️ **コード・差込みプラグが破損した場合には、危険が生じることをないように、製造者もしくは販売店に交換を行ってもらうこと**

お願い

❌ **空だきはしない**
火災・故障の原因になります。

❌ **落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない**
故障・破損の原因になります。

❌ **続けて使用するときは、ふたや本体が冷めてから湯沸かしを行う**
やけどの恐れがあります。

❌ **他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない**
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

❌ **凍結する恐れのある場所に放置する場合は、必ず内容器の水を完全に捨てる**
凍結による故障の原因になります。

❌ **本体や電源プレートを強く置いたり、引きずって移動しない**
机などに傷がつく原因になります。

❌ **キッチン用収納棚などの上で湯沸かしをする場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する**
変色・変形の原因になります。

❌ **電源スイッチには水がかからないように注意する**
故障の原因になります。



❌ **本製品は一般家庭用途および下記の類似用途に使用する**
●商店、オフィスまたはその他の作業環境に存在するスタッフ(従業員)用キッチンで使用する
●住居の居間やキッチンと類似した環境で使用する
※ただし、不特定多数による長時間の使用はしないでください。

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

各部のなまえと扱い方

●本製品は、本体と電源プレートのセパレート式になっています。

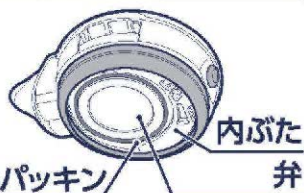
注ぐときや、ふたをはずすとき・取りつけるときに「カタカタ」という音がしますが、異常ではありません。→P.14

注ぎ口カバー

- 注ぎ口からほこりなどが入るのを防ぎます。
- 注ぎ口カバーは強くひっぱったり、曲げたりしないでください。(破損の原因になります。)

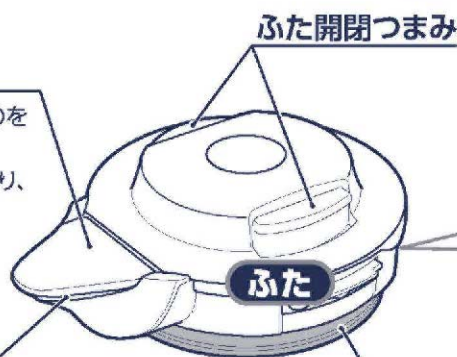
注ぎ口

- 注ぎ口から蒸気が出るので注意してください。



弁パッキン 内ぶた弁

- ふたは分解しないでください。
- 弁を引っ張ったり、力を加えないでください。(変形すると蒸気が漏れたり、水漏れすることがあります。)
- 弁パッキンを取りはずさないでください。(蒸気が漏れたり、湯が吹きこぼれ、やけどの恐れがあります。)



給湯ロックボタン

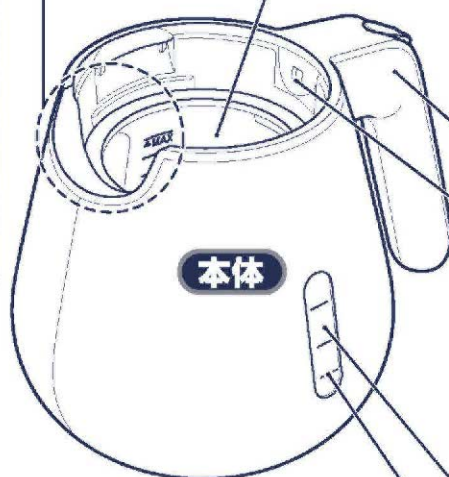
蒸気通路パッキン

- 蒸気通路パッキンを取りはずさないでください。(蒸気が漏れたり、湯沸かしが完了しても電源が切れなくなり、故障の原因になります。)

内ぶたパッキン(消耗品)

- 内ぶたパッキンが白く変色したら交換してください。(有料)→P.12 傾けたり誤って倒したときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。また、蒸気漏れにより、やけど・故障の原因になります。

湯捨て位置 内容器



ハンドル

センサーカバー

- 押し込んだり、異物が付着しないようにしてください。(変形したり異物が付着すると、本体内部にあるセンサーが正常に働かなくなることがあります。)

水量窓

水量目盛

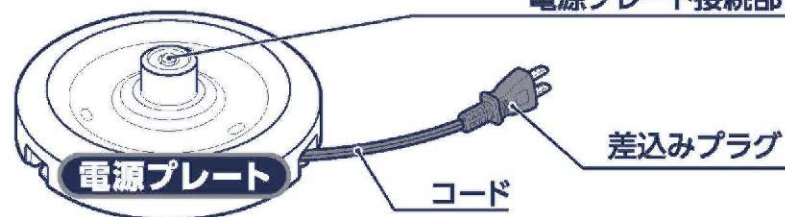
電源プレート接続部



アシゴム(2カ所)

電源プレート

底面



電源プレート

コード

差込みプラグ

操作部

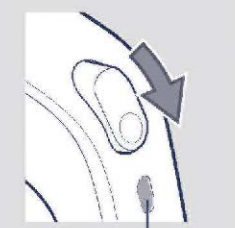
電源スイッチの下側を押すと電源が入り、湯沸かしランプが点灯します。



電源スイッチ

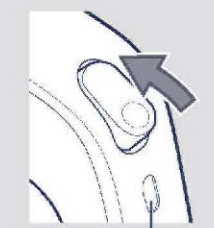
湯沸かしランプ

電源「入」の場合



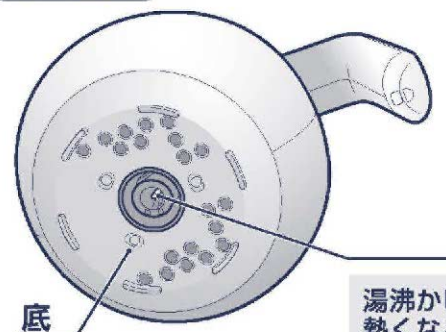
点灯

電源「切」の場合



消灯

本体底部



底

本体接続部

湯沸かし完了直後は熱くなるので、手を触れないでください。

内容器内部

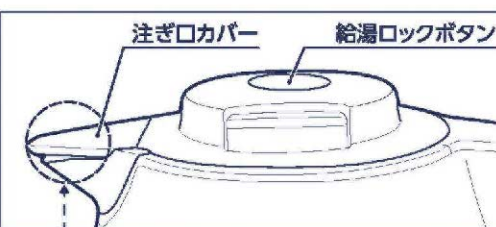


水量目盛

MAX 満水表示

注ぎ口のロック・解除

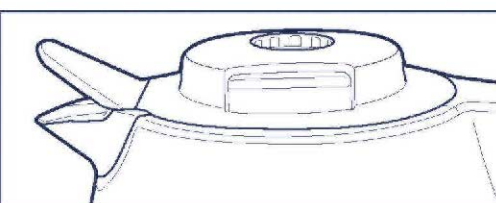
ロック



給湯ロックボタンが上がっているときは、注ぎ口から湯が出ません。注ぐとき以外はロックにしてください。

- ロック状態でも注ぎ口カバーと注ぎ口にすき間がありますが、異常ではありません。

解除



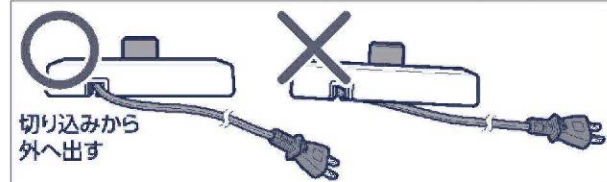
給湯ロックボタンを一度押すと、ロックが解除され、注ぎ口から湯を注ぐことができます。

各部のなまえと扱い方 つづき

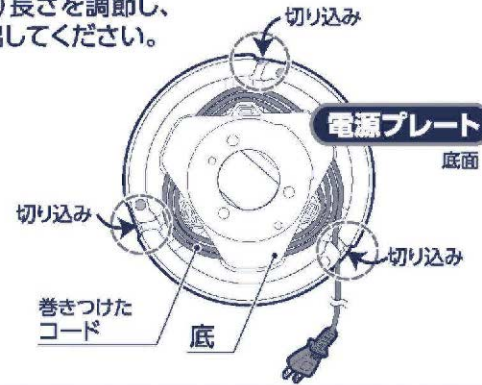
コードの長さ調節方法

コードを電源プレート底部に巻きつけて(時計回り方向)長さを調節し、必ず電源プレートの切り込み(3カ所)からコードを外に出してください。

●切り込み3カ所のどこからでもコードは出せます。



●コードの上に電源プレートをおかないでください。
(傾いて転倒の原因。重いものを載せたり、挟み込んだりするとコードが破損し、火災・感電の原因)



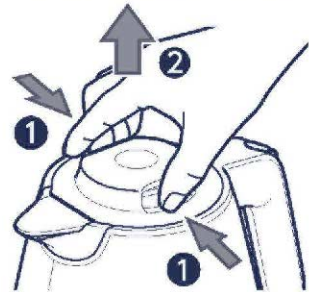
ふたのはずし方・つけ方

注意 ふたをはずすときや取りつけるときは蒸気に注意してください。湯沸かし中や湯沸かし完了後しばらくはふたをはずさないでください。(やけどの恐れ)

- 本体が倒れないように注意してください。万一本体が倒れた場合は、本体を起こしたあとふたをはずし、ふた内部にたまった湯をふたの注ぎ口側から出してください。(ふた内部に湯がたまることあり、やけどの恐れがあります。)
- ふたをはずすときや取りつけるときは、本体を電源プレートからはずした状態でおこなってください。

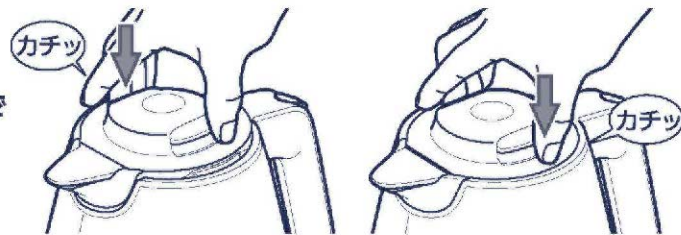
はずし方

- ①ふた開閉つまみをつまむ
- ②そのまま引き上げ、ふたをはずす



つけ方

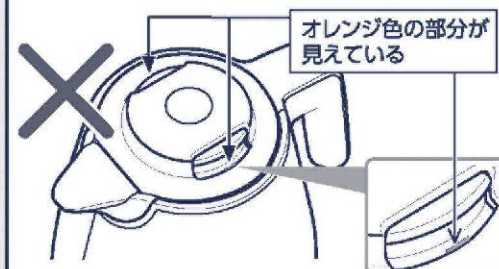
片側ずつふたを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む



●ふたが完全に取り付けられていることを確認してください。

ふたが傾いていたり、ふた開閉つまみのオレンジ色の部分が見えているときは、ふたが完全には取り付けられていません。オレンジ色の部分が見えなくなるまでふたを確実に押し込んでください。

(そのまま使用すると湯が漏れて、やけどの恐れがあります。湯沸かしが完了しても電源が切れなくなり、故障の原因になります。)



湯を沸かす

初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯を沸かし、注ぎ口から湯を捨ててご使用ください。

使いはじめはプラスチックなどのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

1 ふたをはずし、別の容器で水を入れる

本体を電源プレートに載せる前に水を入れてください。



●ミネラルウォーターやアルカリイオン水のご使用について

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用すると、水面に細かな浮遊物が生じたり、内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分(ミネラル分)であり、有害ではありません。ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、こまめにお手入れしてください。

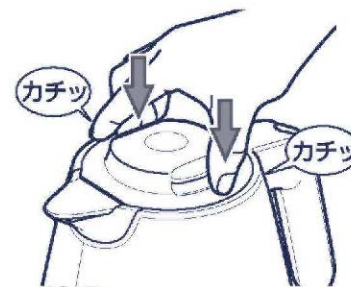
お願い

- 蛇口から水を直接入れたり、流し台に置いて底面をぬらさないでください。(本体内部に水が入り、故障の原因)
- 電源スイッチ・本体接続部・電源プレート接続部に水がかからないように注意してください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)
- 満水表示以上、水を入れないでください。(注ぎ口から湯がふきこぼれ、やけどの恐れ)
- 水以外のものを入れないでください。
- 市販の水質改善材(炭など)やミネラル添加材を入れて使用しないでください。(かけらが詰まり、故障の原因)
- 電源プレートに本体を載せたまま水を入れないでください。(電源プレートに水がかかり、故障の原因)
- 湯捨て位置のまわりに水滴が残らないように注意してください。(本体から水が垂れる原因)

2 ふたを取りつけ 本体を電源プレートに載せる

①ふたを取りつける

片側ずつふたを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

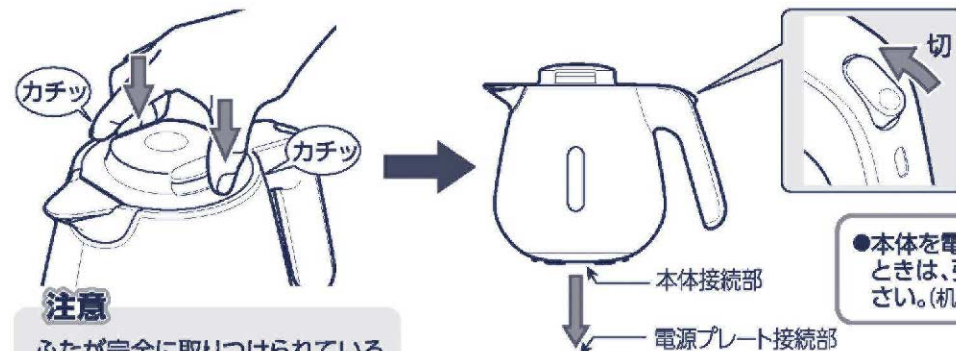


注意

ふたが完全に取り付けられていることを確認してください。湯沸かしが完了しても電源が切れない場合があります。(湯や蒸気の漏れ・故障の原因)

②電源スイッチが「切」になっていることを確認し、本体を電源プレートに載せる

本体接続部を電源プレート接続部に合わせて正しく載せてください。(正しく載せないと電源が入りません。)



●本体を電源プレートに載せるときは、強く置かないでください。(机などに傷がつく原因)

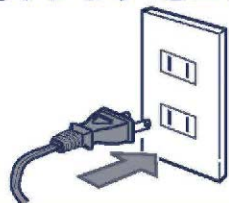
専用の電源プレート以外は使用しないでください。

電源プレートは清潔で平らなところに置いてください。

湯を沸かす つづき

3 差込みプラグをコンセントに差し込み 電源スイッチを押す

① 差込みプラグをコンセントに差し込む

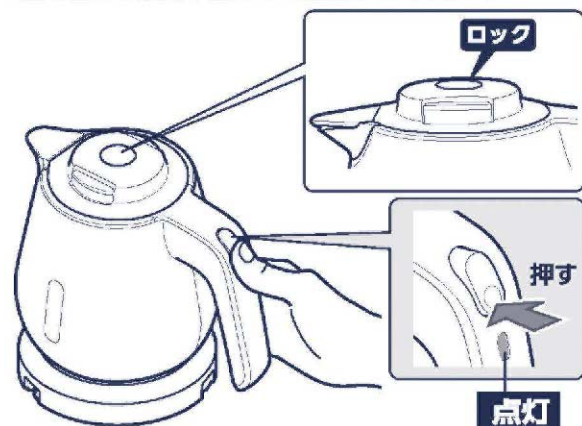


- 定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
(他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火する原因)

② 給湯ロックボタンがロックになっていることを確認し、電源スイッチを押す

湯沸かしランプが点灯し、湯沸かしを開始します。

- 注ぎ口から蒸気が出るので注意してください。



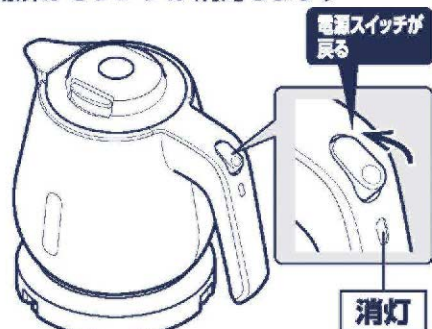
やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。

- ふたや注ぎ口にふきんをかけない
- 注ぎ口に手や顔を近づけない
- 湯沸かし中はふたをはずさない
- 湯沸かし中は湯を注がない
- 湯沸かし中は移動させない

湯沸かしが完了すると

③ 自動的に電源が切れる

湯沸かしランプが消灯します。



- 湯沸かしが完了するまでに電源を切る場合は、電源スイッチの上側を押して電源を切ってください。
- 保温機能はありません。

湯沸かし時間	CK-DB08	約4分
	CK-DB10	約5分

(室温23℃・水温23℃・定格消費電力・満水の場合)

湯沸かし完了直後は注ぎ口・本体接続部が熱くなりますので注意してください。特に乳幼児には触らせないように注意してください。



- 湯沸かし完了後しばらくは、ふたをはずさないでください。(やけどの恐れ)

注意

電源スイッチを押し続けて湯沸かしを無理に継続しないでください。本体内部に蒸気がたまり、故障・水漏れ・やけどの原因になります。

湯を注ぐ

沸とう状態がおさまってから湯を注いでください。

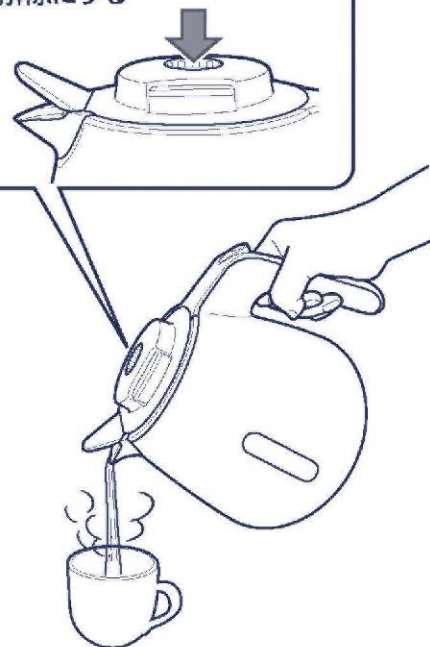
湯沸かしランプが消灯していることを確認したあと

① ハンドルを持って本体を電源プレートからはずし、給湯ロックボタンを押して解除にしてから、ゆっくりと傾けて湯を注ぐ

- 本製品は蒸気を感じて電源が切れる仕組みになっています。この蒸気が水滴となって本体の底やハンドル下から垂れることがありますが、故障ではありません。また、故障の原因になることもありませんので、安心してお使いください。

注ぐとき

給湯ロックボタンを押して、解除にする



注意

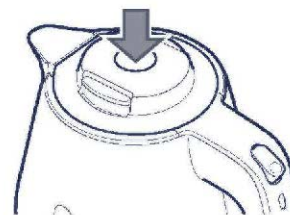
やけどの恐れがありますので、注ぐときは以下の内容をお守りください。

- 本体接続部に手をふれない
- 注ぎ口から出る湯や蒸気に注意する
- 急に傾けない
- 注いでいる間は、給湯ロックボタンを押さない(湯が飛び散り危険)
- 注いでいる間は、ふた開閉つまみに触れない

お願い

- 湯沸かし完了後しばらくは、ふたをはずしたりつけ直したりしないでください。(注いだときに湯が飛び散る原因)

② 注ぎ終わったら、本体を水平に戻し、給湯ロックボタンを再度押してロックしておく



- 使用後しばらくすると、「カチツ」と音がすることがありますが、これは熱せられたセンサーが冷めるときに発生する音です。製品に問題はありません。安心してお使いください。

お願い

- ロック状態でも、製品を転倒させたり、傾けたり、揺るなど絶対にしないでください。また、万一製品を転倒させた場合は、製品を起こすときに注ぎ口に手などを近づけないでください。(注ぎ口から湯や蒸気が出てやけどの恐れ)
- ご使用後は、差込みプラグをコンセントから抜いてください。特に乳幼児には触らせないように注意してください。(けが・感電の恐れ)
- 電源プレートに戻す場合は、電源スイッチが「切」になっていることを確認してから戻してください。

残り湯を捨てる

使用後は湯を残さず、内容器を空にしてください。

①ふたをはずす(→P.6)

注意

ふた内部にたまった湯が注ぎ口や蒸気通路パッキンから出ることがあります。(やけどの恐れ)

②ハンドルを持ち、ゆっくりと傾けて湯捨て位置から残り湯を捨てる

注意

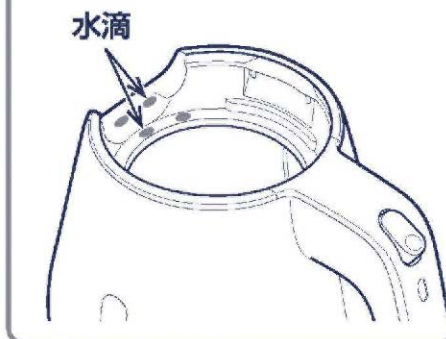
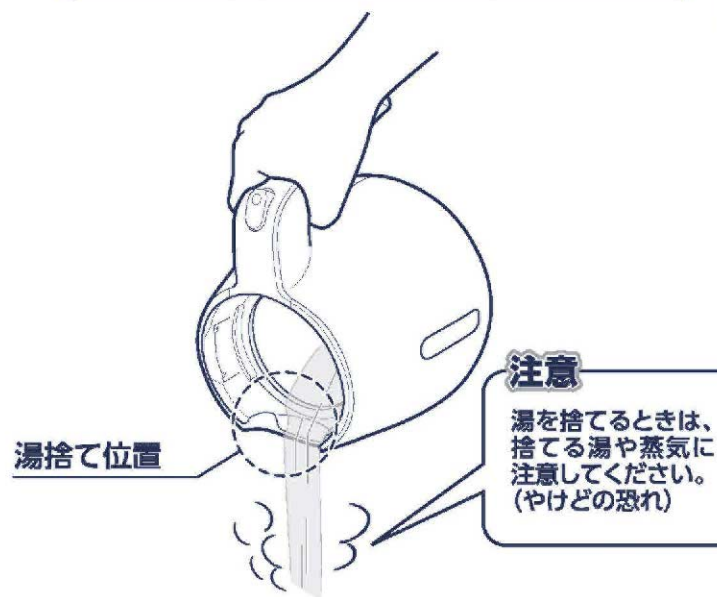
別の位置から湯を捨てると、本体内部に湯が入り、故障の原因になります。

お願い

- ぬれた手で差込みプラグ・電源プレート接続部を持たないでください。(ショート・感電の原因)
- ふたをはずすときは、注ぎ口やふた内部からのしずくが手にかからないように注意してください。(やけどの恐れ)
- 電源スイッチ・本体接続部・電源プレート接続部に湯がかからないように注意してください。(やけど・故障の原因)
- 使用後は残り湯を捨ててください。(水アカの付着やにおいの原因)

お願い

- 湯捨て位置のまわりに残った水滴はきれいにふき取ってください。(本体から水が垂れる原因)



空だき防止

内容器が空の状態では電源スイッチを押すと、過熱による事故を防ぐために空だき防止機能が働き、自動的に電源が切れます。(湯沸かしランプが消灯します。)

処置

電源スイッチを「切」にし、いったん本体を電源プレートからはずして内容器が十分に冷めてから水を入れ、再び湯を沸かしてください。



お手入れ

必ず差込みプラグを抜き、残り湯を捨て、製品が冷めてから行ってください。

お願い

- 底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)
- 次のものは、使用しないでください。
 - シンナー・ベンジン・漂白剤など(変色、割れ、劣化、腐食の原因)
 - みがき粉・ナイロンたわし・金属製のもの・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・ブラシ・研磨剤入り洗剤など(表面が傷つく原因)
 - 洗剤(ふきこぼれてやけどの恐れ、においが残る原因)
- 化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。(表面が傷ついたり、化学変化を起こす原因)
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器を使用しないでください。(樹脂の変形の原因)
- 長期間使用しないときは、十分乾燥させて、においがつかないようにポリ袋などに入れて保管してください。
- ふた・本体・電源プレートの丸洗いは絶対にしないでください。

ふた・本体・電源プレート

よく絞った柔らかい布で汚れをふき取る

- 丸洗いは絶対にしないでください。また、電源スイッチ・本体接続部・電源プレート接続部に水をかけないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)

センサーカバー

綿棒で汚れを取る

- (湿らせた綿棒でセンサーカバーをふいたあと、乾いた綿棒でセンサーカバーをふくと効果的です。)
- センサーカバーを押し込んだり、異物が付着しないようにしてください。(センサーカバーが変形すると、蒸気が漏れたり、センサーが正常に働かなくなることがあります。)

弁

綿棒で汚れを取る

- 弁を引っ張ったり、力を加えないでください。(弁が変形すると、蒸気が漏れたり、水漏れすることがあります。)

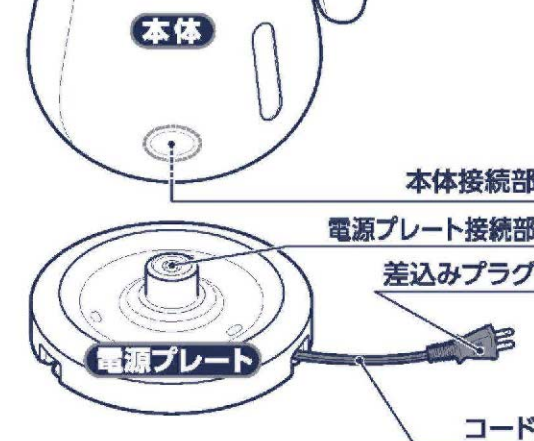
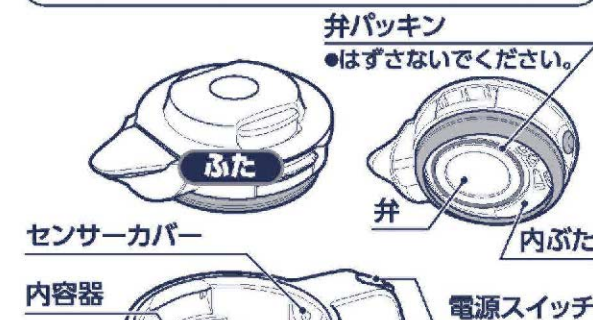
内容器

定期的クエン酸洗浄をする→P.12

- 以下のようなときに、クエン酸洗浄を行ってください。
 - 赤さび状の斑点(もらいさび)がある
 - 乳白色・黒色などの変色・膜状のものが浮遊している
 - 湯を沸かしたとき、大きな音がする
 - 湯がにおう
- (使用される水質や湯沸かしの回数によって汚れの状況は異なります。)

内ふた

ぬれた柔らかいスポンジで汚れをふき取る



本体接続部・電源プレート接続部・コード・差込みプラグ

乾いた柔らかい布で汚れをふき取る

クエン酸洗浄 (ピカポット)

泡立ち・ふきこぼれ防止のため弊社のピカポット(ポット内容器洗浄用クエン酸)をお使いください。(別売品)→P.13

- 1 コップにクエン酸30gを入れて、ぬるま湯で溶かし、内容器に水といっしょに満水表示(▲MAX)まで入れる
- 2 ふたを取りつけ、差込みプラグを接続したあと電源スイッチを押して湯を沸かし、その状態で約2時間置いておく
- 3 ふたをはずした状態で湯を捨てる
- 4 水だけを入れてふたを取りつける湯を沸かし、給湯ロックボタンを押して解除にし、注ぎ口から湯を捨てる(内容器および注ぎ口内部をすすぐため)

お願い

- 水は満水表示以上入れないでください。(湯がふきこぼれ、やけどの恐れ)
- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

湯を捨てるとき

- 捨てる湯や蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)

- ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、内容器に水の成分(ミネラル分)などの汚れが付着しやすくなります。また、内容器に付着した汚れをそのままにしておくと、湯沸かしの音が大きくなります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合はこまめにお手入れしてください。

内ぶたパッキンの交換

内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。

新しい内ぶたパッキンは、ぬれた柔らかいスポンジでふいてから取りつけてください。

内ぶたパッキンが白く変色してきたら…

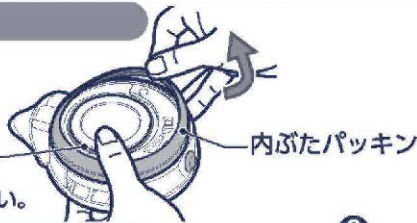
新しい内ぶたパッキン(有料)と交換してください。

内ぶたパッキンが白く変色すると、傾けたり誤って倒したときに、ふたと本体のすき間から湯が流れ出てやけどの恐れがあります。また、蒸気漏れにより、やけど・故障の原因になります。内ぶたパッキンを交換しても蒸気が漏れたり、湯がふきこぼれるときは、その他の部品が傷んでいることがありますので弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

はずし方

ふたをしっかりと押さえ、内ぶたパッキンをはずす

- 弁パッキン
- はずさないでください。

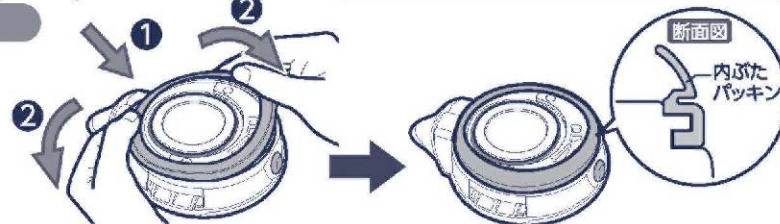


お願い

- ふたは分解しないでください。
- 内ぶたパッキン以外の部品をふたからはずさないでください。(湯がふきこぼれ、やけどの恐れ)
- 内ぶたパッキンは強い力で引っ張らないでください。(破損の原因)

つけ方

- 1 ふた外周に内ぶたパッキンを引っかける
- 2 内ぶたパッキン全周を図の通りきっちりとはめ込む



内ぶたパッキンの取付状態を確認してください。



部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- 消耗品は保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
- お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。(ホームページでのご購入は裏表紙参照)

	部品名	部品番号
消耗品	内ぶたパッキン	BF439020M-00
別売品	ポット内容器洗浄用クエン酸ピカポット(30g×4包入)	CD-KB03型

商品Q&A

水以外のものを入れてもいいのですか?	水以外は入れないでください。入れたものがふきだしてやけどの恐れがあります。また、故障の原因になります。	▶ P.2
毎日湯はかえないといけないのですか?	使用後は残り湯を捨ててください。残り湯を捨てないと、内容器に水アカが付着し、湯沸かし中の音が大きくなったり、湯がにおう原因になります。	▶ P.10
ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用してもいいのですか?	使用できます。ただし、水面に細かな浮遊物が生じたり内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分(ミネラル分)であり、有害ではありません。こまめにお手入れしてください。	▶ P.7 ▶ P.12
クエン酸洗浄中の湯を飲んでしまった!!	クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従って処置してください。	

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
通電しない	差込みプラグがはずれていませんか?	差込みプラグを差し込んでください。
湯沸かしランプが点灯しない	本体を電源プレートに正しく載せていますか?	正しく載せてください。
	電源スイッチを押しましたか?	電源スイッチを押してください。
	電源プレート接続部に金属片やごみが付着していませんか?	金属片やごみを取り除いてください。
	内容器が十分に冷めていますか? 空だき防止機能が働いている可能性があります。	電源スイッチを「切」にし、いったん本体を電源プレートからはずして内容器が十分に冷めてから水を入れ、再び湯を沸かしてください。
電源スイッチが操作できない	湯沸かし完了直後に電源スイッチを押していませんか?	十分に冷ましてからご使用ください。
電源スイッチを押しても、しばらくすると電源が切れ、湯沸かしランプが消灯する	水は入っていますか? 空だき防止機能が働いています。	電源スイッチを「切」にし、内容器が十分に冷めてから水を入れ、再び湯を沸かしてください。→P.10
本体を電源プレートに載せるとすぐに湯沸かしを開始する	電源スイッチが「入」の状態でも電源プレートに載せていませんか?	電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、電源プレートに載せてください。
湯沸かしが完了しない	ふたがはずれていませんか?	ふたを確実に取りつけてください。
	給湯ロックボタンが解除になっていませんか?	給湯ロックボタンをロックにしてください。

故障かなと思ったとき っづき

こんなときは	お問い合わせいただくこと	直し方
注ぎ口から湯がふきこぼれる	水を満水表示以上入れていませんか?	水を満水表示以下に減らしてください。
湯の中で膜状のものが浮遊している	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器の腐食ではありません。	クエン酸で内容器をお手入れしてください。→P.12
内容器に乳白色のザラザラしたものがつく	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	水アカ お使いいただいているうちに、水の中に含まれている水の成分(ミネラル分)が、内容器に付着してきます。これは「水アカ」と言われているもので、有害ではありません。
湯沸かし中の音が大きくなってきた	水の中の鉄分によるもので、内容器の腐食ではありません。	
内容器に赤さび状や灰色の斑点がつく	●電源スイッチを押し続けて湯沸かしを無理に継続していませんか? 無理に継続すると、本体外側が熱くなったり、本体内部で結露した水滴が垂れることがあります。電源スイッチは押し続けしないでください。	
本体外側が異常に熱くなる	●本製品は蒸気を感じて電源が切れる仕組みになっています。蒸気によって、電源スイッチが結露したり、本体の底やハンドルから水滴が垂れることがあります。故障ではありません。また、故障の原因になることもありませんので、安心してお使いください。	
本体の底やハンドルから水滴が垂れる	●湯温や室温が高い場合は本体外側が約60℃になる場合がありますが異常ではありません。	
本体外側が熱くなる	●湯沸かし中は、コードが熱くなる場合がありますが異常ではありません。	
コードが熱くなる	●湯沸かし中は、コードが熱くなる場合がありますが異常ではありません。	
注ぐときや、ふたをはずすとき・取りつけるときに「カタカタ」という音がする	●万一反倒した場合に、湯の流出を防止するためのおもりの動く音です。異常ではありません。	
湯沸かし完了後、しばらくすると「カチッ」と音がする	●熱せられたセンサーが冷めるときに発生する音であり、異常ではありません。	
ふたの消耗	内ぶたパッキン	●内ぶたパッキンは消耗品ですので、1年を目安にご確認ください。ふたと本体のすき間から蒸気が漏れたり、白く変色してきた場合は交換してください。→P.12
	樹脂部品	●ふたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂部品が変色したりザラザラしてきた場合は、交換(有料)してください。

内容器は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

仕様

型名	CK-DB08	CK-DB10
定格容量	0.8L	1.0L
電源	交流100V 50/60Hz	
消費電力	1300W	
コードの長さ	1.3m	
外形寸法(約cm)	幅22×奥行16.5×高さ18 (電源プレート含まない)	幅22×奥行16.5×高さ19.5 (電源プレート含まない)
	幅22×奥行16.5×高さ20	幅22×奥行16.5×高さ21.5
質量	約0.8kg (電源プレート含まない)	約0.8kg (電源プレート含まない)
	約1.0kg	約1.0kg

- 特定地域(高い山・厳寒地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさげください。
- この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary. After-sales service for this appliance is not available outside of Japan.

此产品只针对日本国内专用交流电压100V所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿使用于其它地区。另亦无法对此提供售后维修服务。

此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。另亦無法對此提供售後維修服務。

본 제품은 일본 국내 교류 100V 전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다. A/S 또한 불가능합니다.

アフターサービス

- 保証書の内容のご確認と保管のお願い**
必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
 - 保証期間は、お買い上げ日より1年間**
ただし、内ぶたパッキンは消耗品のため、保証期間内でも「有料」です。
 - 修理を依頼されるとき**
「故障かなと思ったとき」(P.13、14)をご確認のあと、直らない場合は使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。
《保証期間中》
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。
《保証期間を経過しているとき》
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。
 - 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間**
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
 - 修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。